

令和4年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）				担当課係	図書館
事務事業名	図書館運営事業			事業予算費目	
総合計画上の位置付け	政策	① ひとりひとりが輝けるまちづくり		款	10 教育費
	基本目標	1-2 心豊かなひとづくり		項	5 社会教育費
	基本施策	1-2-2 社会教育の推進		目	5 生涯学習課
	主要施策	1-2-1-1 教育環境の充実		事業	3 図書館運営事業

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	利用者の多様なニーズに応える図書館サービスを提供することで、生涯学習の推進と地域の情報の拠点としての役割を果たす。	事業の内容	図書資料の収集や貸出返却等の窓口サービス、リクエスト対応やレファレンス等の読書相談を行った。また、30周年記念事業として、図書館コンサートや絵本作家のイベントを開催したり、徳島市などの図書館との広域利用も開始した。
-------	---	-------	---

■事務事業の業績・推移（DO）

成果指標	指標名	単位	実績		目標	目標	
	貸出冊数		R3	R4	R5	R6	
指標の説明		冊	目標	96,000	96,800	97,600	98,400
			実績	98,308	95,947		
			R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算		
関連事業費	事業費		4,343,652	4,869,990	5,908,000	R3	118
	財源内訳	国県支出金				R4	135
		地方債				各年度4月1日現在の人口	
		利用者負担・その他				R3	36,670
		一般財源		4,343,652	4,869,990	5,908,000	R4

■評価（CHECK）

事業の方向性		拡 充	縮小して継続	判定理由	生涯学習の拠点として市民が生涯を通して学ぶ総合的な環境を提供するためにも図書館サービスは必要である。
		改善・効率化し継続	休止・廃止		
	○	現状のまま継続	完了		

■改善・効率化の方向性（ACTION）

今後の課題	図書館機能の見直しと充実を第3期教育振興計画に掲げ、年間貸出冊数を令和8年度には10万冊という具体的な目標に向けて、司書のレファレンスサービスの充実やボランティアによる読み聞かせ等のイベント実施により図書館への来館者を増やす取り組みが求められている。
今後の方向性	絵本に関するイベント等も開催し、子育て世代など現在図書館の利用が少ない層へのアプローチを行う。本港地区を対象とした「本港地区みなとまちづくり基本構想」における今後の図書館の在り方については、運営方法などを十分に検討し関係機関と連携して取り組んでいく。